

- 6) Okada E. and Shozawa T.: Three dimensional structures of the human subepicardial lymphatic vessels. XIth International Congress of Lymphology, Vienna, September, 1987.
- 7) 三輪淳夫, 増田信二, 北川正信: 診断困難な乳腺腫瘍の1例. 第101回日本病院病理医協会交見会, 1987, 2, 東京.
- 8) 増田信二, 小泉富美朝: アミロイド沈着とフィブリノイド壊死を認めた悪性関節リウマチの一剖検例. 第31回日本リウマチ学会総会, 1987, 5, 東京.
- 9) 増田信二, 松井一裕, 北川正信: 滑液包由来と考えられた左鼠径部腫瘍. 第19回日本病院病理医協会中部支部交見会, 1987, 7, 名古屋.
- 10) 加藤 潔, 細川 仁, 川端正清, 泉 陸一, 増田信二: 教室における子宮肉腫症例の臨床病理学的検討. 第16回日本婦人科病理・コルポスコピー学会, 1987, 7, 久留米.
- 11) 中野 隆, 佐竹伸一郎, 村田雅文, 船木 寛, 丘村 誠, 南 幹雄, 館野政也, 三輪淳夫, 増田信二, 北川正信: 当院における卵巣癌の組織型と予後について. 第25回日本癌治療学会総会, 1987, 札幌.
- 12) 増田信二, 北川正信, 松井寿夫, 館崎慎一郎, 辻 陽雄: 左下肢多発性腫瘍. 第20回骨・軟部腫瘍研究会, 1987, 11, 京都.
- 13) 川上紀明, 大沢良充, 石川灌雄, 長谷川幸治, 片山直樹, 伊藤晴夫, 森 健躬, 今村哲夫, 高橋健一, 北川正信: 術前に予測できなかった子宮平滑筋肉腫転移性の仙骨腫瘍の1例. 同上.
- 14) 増田信二, 北川正信: 分必像の著明な巨大乳腺腫瘍の一例. 第20回日本病院病理医協会中部支部交見会, 1987, 11, 名古屋.
- 15) 野田 誠, 松井一裕, 北川正信, 太田正之: 髄膜腫および骨髄線維症を伴った Werner 症候群の一剖検例. 第76回日本病理学会総会, 1987, 3, 東京.
- 16) 野田 誠, 北川正信: 吉木法による剖検腸骨の形態計測について. 第8回骨形態計測研究会, 1987, 7, 川崎.
- 17) 野田 誠, 北川正信: イタイイタイ病剖検腸骨61例の骨形態計測について. 同上.

◆ その他

- 1) 増田信二, 北川正信, 三輪淳夫: 胸椎 giant cell tumor 放射線療法後に発生した骨腫瘍. 病院病理 5:72, 1987.
- 2) 増田信二, 三輪淳夫, 鍛治友昭: 皮膚にみられ

たヒストプラスマ症. 病院病理 5:80, 1987.

病 理 学 (2)

教 授	小 泉	富美朝
助 教	若 木	邦 彦
助 手	北 澤	幹 男
助 手	平 手	純 司
教 務 員	倉 茂	洋 一

◆ 著 書

- 1) 小泉富美朝: 最新医学大辞典 (後藤稠ら編), 分担執筆, 医歯薬出版, 1987.

◆ 原 著

- 1) 川口 誠, 石沢 伸, 小竹 彌, 斉藤光和, 宗像周二, 中川 肇, 鍛治友昭, 北川和久, 小泉富美朝: Flow cytometry による扁桃組織内マクロファージおよび末梢血単球の貪食能の検討: 日扁桃誌26:119-125, 1987.
- 2) 馬 永華, 葉 加南, 服部征雄, 金子周司, 野村靖幸, 若木邦彦, 倉茂洋一, 難波恒雄: 杜仲葉の研究(II) 杜仲葉水エキス長期投与によるラットへの影響について. 和漢医薬学会誌 4:26-34, 1987.
- 3) 馬 永華, 葉 加南, 服部征雄, 金子周司, 野村靖幸, 倉茂洋一, 若木邦彦, 堀越 勇, 難波恒雄: 脾虚証病態モデル動物の研究(I) センナ長期投与ラットの病態学的変化. 和漢医薬学会誌 4:138-148, 1987.
- 4) 馬 永華, 葉 加南, 服部征雄, 金子周司, 野村靖幸, 倉茂洋一, 若木邦彦, 川真田聖一, 堀越勇, 難波恒雄: 脾虚証病態モデル動物の研究(II) - センナ連続投与ラットの組織化学的ならびに電子顕微鏡による組織所見. 和漢医薬学会誌 4:155-163, 1987.
- 5) 馬 永華, 葉 加南, 服部征雄, 金子周司, 野村靖幸, 倉茂洋一, 若木邦彦, 難波恒雄: 杜仲葉の研究(IV) - センナ長期投与による虚弱ラットへの杜仲葉水エキスの影響について. 和漢医薬学会誌 4:180-191, 1987.

◆ 症例報告

- 1) Terasawa K., Tosa H., Imadaya A., Wakaki K., and Koizumi F.: An autopsy case of rheumatoid arthritis with scirrhous infiltration of gastric carcinoma in the synovial tissue. Jpn. J. Rheum. 1:99-104, 1986.
- 2) Morita T., Kamimura A. and Koizumi F.: Dis-

- seminated visceral giant cell arteritis. Acta Pathol. Jpn. 37: 863-870, 1987.
- 3) 川西孝和, 藤田敏雄, 榊原年宏, 石坂龍典, 伊藤 博, 小泉富美朝, 若木邦彦: S状結腸間膜原発 Hemangiopericytoma の1例. 日消外会誌20: 891-894, 1987.
 - 4) 小泉富美朝, 若木邦彦, 榊原年宏, 宮本 汎, 久保 正: ステロイド剤治療の減量中に Churg-Strauss 症候群を呈した気管支喘息の一剖検例. 厚生省特定疾患・系統的脈管障害調査研究班, 1986年度研究報告書 p.50-55, 1987.
 - 5) 増田信二, 野田 誠, 北川正信, 小泉富美朝: アミロイド沈着とフィブリノイド壊死を認めた悪性関節リウマチの一剖検例. 厚生省特定疾患・系統的脈管障害調査研究班, 1986年度研究報告書 p.61-63, 1987.
 - 6) 上山武史, 富川正樹, 横山雅康, 小泉富美朝: バージャー病動脈閉塞例における側副血行路. 厚生省特定疾患・系統的脈管障害調査研究班, 1986年度研究報告書 p.133-136, 1987.
- ◆ 総 説
- 1) 小泉富美朝, 谷内宗臣, 榊原年宏: ブタ蛔虫抗原を用いた I型アレルギー実験における小柴胡湯の作用について. Therapeutic Research 6: 653-663, 1987.
 - 2) 小泉富美朝, 北澤幹男: 各種疾患における線維化の病理組織学的意義. 最新医学42: 2140-2145, 1987.
- ◆ 学会報告
- 1) 川口 誠, 石沢 伸, 小竹 彌, 斉藤光和, 霜田ふゆみ, 小泉富美朝: 扁桃内マクロファージの貪食能測定および免疫組織化学的検討. 第76回日本病理学会総会, 1987, 4, 東京.
 - 2) 若木邦彦, 小泉富美朝, 木村晶子, 京谷征三: Multicystic encephalomalacia を伴ったピルビン酸脱水素酵素部分欠損症の1剖検例. 第76回日本病理学会総会, 1987, 4, 東京.
 - 3) 増田信二, 小泉富美朝: アミロイド沈着とフィブリノイド壊死を認めた悪性関節リウマチの一剖検例. 第31回日本リウマチ学会総会, 1987, 5, 東京.
 - 4) 杉山英二, 神谷 哲, 吉川俊史, 堀 享, 富田美樹, 加藤弘己, 矢野三郎, 若木邦彦: 続発性アミロイドーシスによる腸穿通で死亡した RA の一剖検例. 第31回日本リウマチ学会総会, 1987, 5, 東京.
 - 5) 吉川俊史, 富田美樹, 杉山英二, 堀 享, 加藤弘己, 矢野三郎, 小泉富美朝: Churg-Strauss 症候群の一例. 第31回日本リウマチ学会総会, 1987, 5, 東京.
 - 6) 小竹 彌, 川口 誠, 霜田ふゆみ, 古田 勲, 小泉富美朝: ヒト扁桃 macrophage の研究: 培養系における壁付着細胞の形態について (第1報). 第8回日本炎症学会, 1987, 7, 東京.
 - 7) 小泉富美朝, 北澤幹男: I型およびIII型アレルギー反応における組織傷害 (シンポジウム) 第41回北陸医学会総会, 1987, 9, 富山.
 - 8) 小竹 彌, 古田 勲, 川口 誠, 小泉富美朝, 霜田ふゆみ, 中川 肇: ヒト扁桃における macrophage の研究 (第2報): 培養系における壁付着細胞の検討, 第27回日本扁桃研究会総会, 1987, 10, 京都.
 - 9) Kawaguchi M., Ishizawa S., Odake H., Shimoda F., Nakagawa H., Mizukoshi K., and Koizumi F.: Quantitative Study on phagocytosis of human tonsil macrophages by Flow cytometric and immunohistochemical methods. International Symposium on Tonsils. 1987, 10, Kyoto.
 - 10) 若木邦彦, 福村 健, 宮本藤之: 肺動脈幹に発生した malignant hemangiopericytoma の捺印所見, 第26回日本臨床細胞学会秋期大会, 1987, 10, 札幌.
 - 11) 松井寿夫, 伊藤達雄, 山田 均, 増田信二, 小泉富美朝: 悪性関節リウマチの一剖検例における頸椎病変について. リウマチ関節外科学会, 1987, 11, 神戸.
 - 12) Kaji T., Kawatani R., Miyahara T., Kozuka H., and Koizumi F.: Biochemical and histological study of the effects of cadmium, copper or zinc on bone formation of embryonic chick bone in tissue. 日米合同会議, 1987, 11, 京都.
- ◆ その他
- 1) 小泉富美朝, 榊原年宏: Wegener 肉芽腫症の初期病変. 厚生省特定疾患・系統的脈管障害調査研究班, 昭和61年度第二回シンポジウム報告書 p.77, 1986.
 - 2) 小泉富美朝: 富山県立中央病院臨床病理検討会 (第9回) 記録: 分娩時大量出血で救命し得なかった症例. 富山中医誌10: 57-66, 1986.
 - 3) 小泉富美朝: アレルギー性肉芽腫性血管炎小委員長報告. 厚生省特定疾患・系統的脈管障害調査研究班, 1986年度研究報告書 p.26-32, 1987.
 - 4) 長沢俊彦, 小泉富美朝, 橋本博史, 安倍 達, 柴田整一: ウェーゲナー肉芽腫症改定診断基準案

の提唱。厚生省特定疾患・系統的脈管障害調査研究班, 1986年度研究報告書 p.229~231, 1987.

- 5) 小泉富美朝: 富山県立中央病院臨床病理検討会 (第10回) 記録: 白血球 (成熟型好中球) 增多症の1例. 富山中医誌11: 93-103, 1987.

病理学 (寄生虫学)

助 教 授 上 村 清
教 務 員 荒 川 良

◆ 著 書

- 1) 上村 清: アカイエカ, イエカ, ウミヘビ, 衛生害虫, LC₅₀, 屋外吸血性, 屋外嗜好性, 屋内吸血性, 屋内嗜好性, 蚊, 外部寄生, 化性, カミキリモドキ, ガムクロラル液, カワニナ, 環境的駆除法, 環縫類, 機械的駆除法, 機械的伝播, 吸血害虫, 吸血嗜好性, 休眠ホルモン, 狭所交尾性, 警報フェロモン, 共生, 経卵伝染, KT₅₀, 口器, 抗蛇毒血清, 交尾器, 後方気門, コガタイエカ, コガタハマダラカ, 呼吸管, 呼吸管棘, 呼吸管毛, 昆虫アレルギー, 昆虫刺傷, サソリ, サソリ刺症, サワガニ, シガテラ, シナハマダラカ, 翅脈, 蛇毒, 食腎血虫, 生物学的伝播, 増幅動物, 蛇咬傷, 毒蛇, トラフグ, ヌマカ, ネットアイエカ, ネットアイシマカ, ハブ, ハブ毒, ハマダラカ, ヒトスジシマカ, ヒポプス, 吻, ペデリン, 麻痺型貝中毒, マムシ, マルピギー管, 宮入貝, ムカデ, 無吸血生殖, ヤブカ, ライトトラップ. 「最近医学大辞典」, 後藤稠主編, 6, 51, 106, 112, 139, 159, 169, 183, 210, 229, 238, 244, 267, 274, 301, 310, 315, 316, 381, 382, 383, 431, 444, 463, 467, 474, 475, 476, 507, 531, 536, 558, 606, 616, 623, 676, 786, 854, 898, 927, 1025, 1034, 1094, 1098, 1154, 1196, 1208, 1282-83, 1301, 1369, 1370, 1372, 1386, 1391, 1392, 1436, 1461. 医歯薬出版, 1987.

◆ 原 著

- 1) Sasa M. and Kamimura K.: Chironomid midges collected on the shore of lakes in the Akan National Park, Hokkaido (Diptera, Chironomidae). Res. Rep. Natl. Inst. Environ. Stud., (104), 9-61, 1987.
- 2) Kamimura K., Horio M., Doi R., Igarashi A., Ahmed Altaf., Ahmed Akhter and Takasu T.: A mosquito survey for virus isolation in Karachi. Encephalitides, Mosquitoes and a Virus in Karachi, (2), 229-232, 1987.

- 3) Doi R., Kamimura K., Horio M., Ahmed Akhter and Takasu T.: Metals in the hair samples of the residents in and around Karachi, Pakistan, 1985-1986. Encephalitides, Mosquitoes and a Virus in Karachi, (2), 247-252, 1987.
- 4) 渡辺 護, 中居昭信, 上村 清: クロトラカミキリによる家屋被害の1例. 家屋害虫, (29・30), 19-22, 1987.
- 5) 中丸勝人, 佐藤根敏彦, 伊藤祐輔, 荒川 良, 上村 清: 夏期, 冬期における手術部内微小動物 (ダニ) の実態調査と対策. 医科器械学, 57, 319-323, 1987.
- 6) Arakawa R.: Attack on the parasitized host by a primary solitary parasitoid, *Encarsia formosa* (Hymenoptera: Aphelinidae): the second female pierces, with her ovipositor, the egg laid by the first one. Appl. Ent. Zool., 22: 644-645, 1987.

◆ 総 説

- 1) Kamimura K.: Harmful insects and human beings (4) The reappearance of household insect pests and the effects of internationalization. SP World, 8, 19-20, 1987.
- 2) 上村 清: 人体内ダニ症. Medical Practice, 4, 113, 1987.
- 3) 上村 清: ステロイド剤とヒゼンダニ. Medical Practice, 4, 296, 1987.
- 4) 上村 清: シラミ対策. Medical Practice, 4, 485, 1987.

◆ 学会報告

- 1) 上村 清, 荒川 良: JH 様化合物 S-31183 のアカイエカ, コガタイエカに対する実地散布試験. 第39回日本衛生動物学会大会, 東京. 1987, 4.
- 2) 荒川 良, 上村 清, 渡辺 護, 倉橋 弘, 河合潜二: 中部山岳国立公園立山で多発する2種クロバエの山麓部における生活. 第39回日本衛生動物学会大会, 東京, 1987, 4.
- 3) 上村 清, 倉橋 弘, 篠永 哲, 斉藤一三, 上宮健吉, 稲岡 徹, 堀尾政博, 岩佐光啓: 南西アジア地域における人畜有害双翅類昆虫の動物地理学的研究 (昭和62年度: 予報). 第43回日本寄生虫学会・第42回日本衛生動物学会西日本支部合同大会, 岡山, 1987, 10.
- 4) 渡辺 護, 荒川 良, 上村 清: 富山県におけるコガタアカイエカ捕集数の過去18年間の年変動. 第43回日本寄生虫学会・第42回日本衛生動物学会西日本支部合同大会, 岡山, 1987, 10.
- 5) 村上巧啓, 松野正知, 佐伯陽子, 足立雄一, 五